第2学年3組 数学科学習指導案

単元 「一次関数」 本時 令和元年10月8日(火) 第5校時 2年3組教室において

(1) 本時の指導観

(1)本時の指導観前時までに、子どもたちは、一次関数の特徴を比例と比較しながら学習し、表、グラフ、式で捉え、それらを相互に関連づけて考えることを学習している。本時では、一次関数を用いて具体的な事象を捉え、考察し表現できるようになることをねらいとしている。はじめに、めあてを確認する。ここでは、課題解決に向けての意欲を高めるために、同じ車種で種類の違うガソリン車、ハイブリッド車、電気自動車を提示することで主体的学びを促す。次に、お勧めの車を説明することができるように、具体的な事象について考察する。ここでは、表、グラフ、式のいずれかを使って説明することができるように、個人→班→全体というプロセスで、課題解決をはかる。最後に、まとめ・振り返りを行う。ここでは、表、グラフ、式のそれぞれのよさをまとめ、本時の学びの意味・価値を実感させる。

(2) 本時の主眼

(2) 本時の主眼 自動車の使用年数と総費用について考察し、表、式、グラフを用いて、相手に納得させるプレゼンテーションすることができるようにするとともに、表、式、グラフのよさを理解することができるようにする。
 (3) 振り返りの視点 ・自分の言葉で、表・グラフ・式を使って説明することができた。 ・表を使えば、数量を比べやすかった。 ・グラフを使えば、変化の様子が一目でわかった。 ・ゴを使えば、正確な値を求められるし、x がどんな値になっても、y の値を求めることができるということがわかった。
 (4) 準備 ホワイトボード GT ワークシート

- (4) 準備 ホワイトボード GT ワークシート
- (5) 展開

段階	(5) 展開 学習活動・内容	具体的な支援	評価	配時	形態
つかむ	 (1) 学習課題を知る。 (A車:ガソリン車)(B車:ハイブリッド車)(C車:電気自動車) (2) 課題を把握する。 【問題】OOさんは、新車の購入を考えています。候補にあがっている車は、A車(ガソリン車)、B車(ハイブリッド車)、C車(電気自動車)です。もし、あなたが、店員ならどの車をおすすめしますか。 	○探求意欲を引き出すことができるように、、	◇をフれて葉こる察お表・か、でと。、勧・のを分明が様ーのがい使のすで相クのすが言るき監シ	10 分	一斉
探る深める	めあて表、グラフ、式を使って、相手が納得のいくされる。 2 課題を追究する。 (1)個人で追究する。 <考察の視点> ・表を使う。 xに1~数字を当てはめて比べる。 ・グラフを使う。 10年後にはA、Bは300万円と同じになる。 ・式を使う。 傾きは1年間当たりの燃費量、切片は車両価格。 等しくなるのは、グラフの交点のときだ。 (2)班で交流し、プレゼンテーションを作る。 (3)プレゼンテーションを行う。	○お勧めのこうです。 一でうれんでするいうでです。 一部でするいうでです。 一部でするいうででです。 一部でででででするのからでででででででででででででででででででででででででででででででででででで	(1) (1) (2) (2) (3) (4) (4) (5) (6) (7) (7) (7) (8) (8) (9) (9) (1) (1) (1) (1) (2) (3) (4) (4) (5) (6) (7) (7) (8) (8) (9) (9) (9) (9) (9) (9) (9) (9	30 分	個 班 全体
生かす	3 まとめ・振り返る。 まとめ・振り返り ・表やグラフに表すことで変化の様子を説明しやすくなる。 ・グラフの交点を求めるには、直線の式を求め、連立方程式を解けば求められる。その交点を求めることができれば、何年後にどちらがお得になるかを説明することができる。 ・一次関数を他の場面でも利用してみたいと思う。	ンする場を設定する。 ○学びを自覚することができ		10 分	一斉